

学習指導資料

「学習評価の事例集」（宮城県版）

高等学校

第2編（各教科）

特別活動

令和4年1月

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会

<各事例概要一覧と事例>

(P. 3～9)

事例1 キーワード ホームルーム活動(3)の指導と評価の計画から評価の総括まで

議題 教科・科目の選択を通して主体的に進路決定をしよう

(エ 主体的な進路の選択決定と将来設計 第1学年)

事例1は、ホームルーム活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導計画と評価の事例である。

第1学年の教科・科目の選択における学びを、よりよい生活づくりに生かすことを題材にした一連の活動計画例、1単位時間の指導計画例、ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また、教師の補助簿やルーブリック評価表を活用した評価については、一連の活動毎に累積された評価結果をもとに年間の総括に繋げる工夫例について取り上げた。補助簿の活用は、求める生徒の姿から十分満足できるものについて「○」を記載する例である。また、ルーブリック評価表では、「A」を十分満足できる生徒の姿として「○」を記載する例である。なお学校の実情に応じて、○がいくつで総括に○が付くのか、ルーブリック評価表での「B」をどのように扱うのか、などについて事前に共通理解をしておく必要がある。

(P. 10～18)

事例2 キーワード 生徒会活動の指導と評価の計画から評価の総括まで

議題 生徒会活動(各種委員会)へ主体的に参加する

(生徒会活動 全学年)

事例2は、生徒会活動のうち、年間を通じた各種委員会の活動についての指導計画と評価の事例である。

一年間の生徒会活動への参加や委員会に所属していない生徒も含めてどのような評価をするかの工夫例を示した。また、体育委員会の活動例、生徒総会に向けての取組の活動例をあげ、活動の中での評価場面や評価者、評価対象者を示した。加えて、生徒会活動への関わりを振り返り自己評価するためのルーブリック評価表や自己評価表を参考とし、担任以外の教師からの評価を材料とする補助簿を活用して評価を累積する工夫例について取り上げた。

(P. 19～26)

事例3 キーワード 学校行事の指導と評価の計画から評価の総括まで

議題 体育祭

((3)健康安全・体育的行事 全学年)

事例3は、学校行事「健康安全・体育的行事」の指導計画と評価の事例である。

特別活動の全体計画と体育祭の指導と評価の計画、ホームルーム活動や、生徒会活動との関連を示したうえで、体育祭を中心とした一連の活動計画例、1単位時間の指導計画例、ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また、教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例について取り上げた。

なお、本事例は、以下に留意して作成している。特別活動の全体計画や、各学年の年間指導計画から体育祭の指導と評価の計画を作成し、特別活動の目標や学校行事の目標に基づき、体育祭の目標を定める。学校行事は、全校又は学年を単位として行う活動があり、ホームルーム担任以外の教師が指導することも多いことから、共通理解を図るため、目標を定めることが重要である。また、体育祭(学校行事)は、ホームルーム活動や生徒会活動との関連が密接であることから、体育祭を軸に置いた、ホームルーム活動や生徒会活動についても計画し、目標を定める。

(P. 27)

資料 1 補助簿の活用例と総括まで

事例1・事例2・事例3で取り上げた補助簿の活用例を参考にして、年間の総括的評価までの流れを例示した。

ホームルーム活動・生徒会活動は、一連の活動毎に小括し、累積された結果をもとに総括に繋げる例である。委員会活動については、活動の特性上、年間を通しての評価となっている。

なお、事例2の本文では、ループリック評価表を用いた例を示している。

学校行事の評価については、特定の行事に重点を置いて評価し、累積された結果をもとに総括に繋げる例である。

特別活動 事例 1

キーワード 「ホームルーム活動（3）の指導と評価の計画から評価の総括まで」

議題

第1学年

「教科・科目の選択を通して主体的に進路決定をしよう」

内容のまとめり

ホームルーム活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

1 ホームルーム活動（3）で育成を目指す資質・能力

- 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けるようにする。
- 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに自らの意思と責任で進路の選択決定ができるようにする。
- 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。

2 評価規準（内容のまとめりごとの評価規準）

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会的・職業的な自立とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。	現在の自己の学習の課題、及び自己の将来の生き方や進路についての課題を見いだそうとしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて適切かつ必要な情報を収集・整理して考察し、意思決定して実践している。	将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返ろうとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて主体的に自己実現を図ろうとしている。

3 指導と評価の計画

ホームルーム活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導計画と評価の事例である。第1学年の教科・科目の選択における学びを、よりよい生活づくりに生かすことを題材にした一連の活動計画例、1単位時間の指導計画例、「ワークシート」を参考とした評価の工夫例を示した。

【一連の活動と評価】

時間	議題及び題材 ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む
ホームルーム活動	<p>「志望校の選択と私の悩み」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択理由の明確化及び進路達成のために必要な条件や自己努力について理解する。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を基に、話し合い活動によって情報を共有し、課題解決のためのスキルを身に付ける。 	主体的に適切な情報を収集するスキルを身に付け、進路達成のために必要な条件や努力すべきことについて理解している。	互いの意見や考えを認め合いながら話し合い、協働して取り組んでいる。進路選択における課題やその解決方法を見いだしている。	積極的に議論に参加し、課題解決の方法を粘り強く探ろうとしている。
ホームルーム活動	<p>「文理選択について考えよう」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の適性を探り、大学研究を通して文理選択について考える。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の目標や適性に応じた適切な情報を収集し、「キャリア・パスポート」にまとめる。 	適切な情報収集のスキルを身に付けている。	様々な情報を基に自己の適性を探り、将来や今後の目標とともに文理選択について考察している。	自己の適性や目標を見いだし、適切な情報を収集しようとしている。
学校行事	<p>「教科・科目選択ガイダンス」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の興味・関心と教科・科目の選択の目的を理解する。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択希望用紙に文理選択と教科・科目の選択を記入する。 	教科・科目選択の目的や自己の興味・関心を理解している。		自らの進路について主体的に考え、教科・科目を適切に選択しようとしている。
ホームルーム活動	<p>「先輩の経験を基に、進路決定に向けて考えよう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩の経験から自己の学びや進路決定の課題を見いだし、今後の学校生活に対する意欲を高める。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の学びや進路決定の課題について「キャリア・パスポート」にまとめる。 	先輩の経験を基に自己の学びや進路決定の課題について理解している。	今後の学校生活に対して考えを深め、具体的な目標を見いだしている。	主体的に情報を収集し、自己の学びや進路決定の課題を見いだそうとしている。

ホームルーム活動	<p>「オープンキャンパスの参加を踏まえて大学や学部の特徴を知ろう」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を通して今後の学習に対する意欲を高める。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスの参加を通して得た情報をグループで共有する。 ・「ワークシート」に大学や学部の特徴、今後の学びについて記入する。 	<p>オープンキャンパスの参加を通して得た情報を整理し、理解している。</p>	<p>互いの意見や考えを認め合いながら話し合い活動に取り組んでいる。</p> <p>今後の学びに対して考えを深め、具体的な目標を見いだしている。</p>	<p>積極的に話し合い活動に参加し、学びの方法を粘り強く探ろうとしている。</p>
ホームルーム活動	<p>「振り返りと新たな目標設定」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科・科目の選択における一連の学習を通して過去と現在を振り返り、今後の生活や学習について新たな目標を設定する。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリック評価を通して、進路意識の変容や一連の活動における目標の達成度を確認する。 ・今後の生活や学習に対する新たな目標を設定し、「キャリア・パスポート」にまとめる。 	<p>進路意識の変容や一連の活動における目標の達成度について理解している。</p>	<p>多面的に自己を捉えながら、課題を見いだし、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>進路達成に向けて、自らの行動や学習に対する姿勢を改善しようとしている。</p>

4 ホームルーム活動「オープンキャンパスの参加を踏まえて大学や学部の特徴を知ろう」について

(1) 題材

オープンキャンパスの参加を踏まえて大学や学部の特徴を知ろう

(2) 目指す生徒の姿

- ・ オープンキャンパスの参加を通して大学や学部の特徴を知り、自己の適性や課題を見いだそうとしている。
- ・ 互いの意見や考えを認め合いながら話し合い活動に取り組み、多面的な視点から自己の学びや生活について考えている。

(3) 本時の展開

	学習内容及び学習活動	○目指す生徒の姿
導入	1 オープンキャンパスの体験活動を振り返る。 ・体験活動についてまとめた自分のレポートを読み返す。	○ レポートを読み返し、情報を整理している。
展開	2 体験学習を通して得た情報をグループで共有する。 3 オープンキャンパス体験の前後における、進路意識の変化を振り返る。 ・ワークシートに記入する。 4 オープンキャンパスの参加を通して感じた「自分の課題」を考える。 ・ワークシートに記入する。 5 現在の自分の学習や生活の現状を振り返る。 ・ワークシートに記入する。 6 4, 5についてグループで意見を共有する。 7 今後の学習や学校生活で自分が取り組む内容をまとめる。 ・ワークシートに記入する。	○ 互いの意見を尊重しながら、意欲的に話し合い活動に取り組んでいる。 ○ 多面的な視点から過去と現在の自分を振り返ろうとしている。 ○ オープンキャンパスの参加を通して自分の課題を積極的に見いだそうとしている。 ○ 現在の学習への取組や生活に対する現状を振り返り、課題を見いだそうとしている。 ○ オープンキャンパスを通して感じた自分の課題や現状を踏まえて、今後の学びや生活における目標を主体的に見いだそうとしている。
終末	8 振り返りと今後の見通し ・今回まとめた内容について、今後の生活で実践し、定期的に振り返りを行う。	

(4) 「ワークシート」の記述内容を参考にして評価する工夫例

次の資料は、本時で用いたワークシートである。ワークシートの記述内容から、生徒の思考や気持ちの変容などを見取り、評価を行った例である。

〇〇年〇月〇日

「オープンキャンパスの参加を踏まえて大学や学部の特徴を知ろう」

1年	組	番	氏名
----	---	---	----

1 オープンキャンパスで得た情報と自分の課題を整理しよう！

<p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学が求める生徒像 ・入試の種類や入試に向けてのアドバイス ・希望学部・学科での研究内容 	<p>【自分の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドミッションポリシーを理解し、それに見合った幅広い能力を高校生活の中で培う。 ・学力については、〇〇や□□の科目を中心に基礎学力を身に付ける。
---	---

2 グループでの話し合い活動を通して得られた情報は何か、まとめよう！

- ・学生の主体性やコミュニケーション能力、課題解決能力など、今後の社会を生き抜くための能力を身に付けられる工夫が随所に見られた。
- ・同じ学部・学科でも大学によって学習方法や教育課程が異なる部分があり、参考になった。
- ・大学によって施設や設備に大きな違いがあることが分かった。

3 オープンキャンパス参加の前後ではどのように気持ちに変化したか、整理しよう！

<p>【参加前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学ではどのような研究が行われていたり、具体的にどのような学問が学べたりするのか分からなかった。興味を持てなかった。 ・志望校ではあるが、合格するためにはどのような高校生活を送るべきなのか分からない。 	<p>【参加後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義やゼミ活動の内容、就職先などを具体的に知ることができ、具体的なイメージをもつことができた。 ・今後の高校生活において、どのようなことを意識して学習したり、どういふ高校生活を送ったりすべきか知ることができた。
---	--

4 今後の学習や学校生活において主にどのようなことに取り組むべきか、整理しよう！

<p>【学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外での学習時間を確保し、計画的な学習習慣を身に付ける。また、〇〇科目を中心に学習を深める。 ・△△の資格取得に積極的にチャレンジし取得する。 	<p>【学校生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業はもちろん課外活動にも積極的に取り組み、コミュニケーション力や社会性・主体性を身に付ける。 ・ボランティアなど校外活動にも取り組み、幅広い能力や考え方を身に付ける。
---	--

5 本時の振り返り

1 主体的に話し合い活動に取り組むことができた。	あてはまる ① 2 3 4 5 あてはまらない
2 自分の課題について多面的に考察しまとめることができた。	あてはまる 1 ② 3 4 5 あてはまらない
3 自分の学習や学校生活の現状と今後について真剣に考えることができた。	あてはまる ① 2 3 4 5 あてはまらない

将来の生き方について適切かつ必要な情報を収集・整理し、考察していることが見取れるため、思考・判断・表現について十分に満足できる状況と考えられる。

【参加前】と【参加後】の気持ちや考えの変化を比較し、積極的に捉えようとしており、主体的に学習に取り組む態度の観点が十分であることが見取れる。

現在の学習と将来について明確な目標を持ち、必要な知識及び技能を十分に身に付けていると考えられる。また、将来の自立に向けて自己実現を図ろうとしていることが見取れる。

(5) 総括的な評価の工夫例

【例1】 「一連の活動毎に総括的な評価を行う方法の工夫例」

ホームルーム活動の評価においては多様な方法が考えられるが、全ての活動を評価するのではなく、一連の活動毎に総括的に評価する方法も考えられる。そして、1年間の最後に、それらを総括し、予め定めてある校内基準に則って「年間の総括的な評価」を行う。

以下にその例を示す。

以下も同様に、「一連の活動②」、「一連の活動③」と継続して観点別評価と総括的な評価を記入する。

ホームルーム活動 一年一組	一連の活動① 「教科・科目の選択を通して主体的に進路決定をしよう」			まとめ 毎の総括的な評価 (小括)	年間の総括的な評価
	知・技	思・判・表	態		
	現在の学習と将来の自立について、必要な知識及び技能を身に付けている。 自分らしい生き方を実現する意義を理解している。	自己の学習課題や進路についての課題を見いだそうとしている。 主体的に学習に取り組む、将来の生き方について適切かつ必要な情報を収集・整理し、考察している。	現在の生活や学習について振り返ろうとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。		
1101	○	○	○	○	○
	進路達成のためにどのような学習や生活をすべきか知識・技能を身に付けた。	話し合い活動を通して、進路についての情報や課題を積極的に収集・整理し、考察していた。	参加前と参加後の気持ちの変化を捉え、目標に向かって粘り強く学習等に取り組んでいる。	○	○
1102	○		○	○	○
1103			○		

総括的な評価を「○」とする理由についてワークシート等を活用しながら、担任教師が観点毎にメモを記しておく。また、担任以外の担当教師の見取りを記しておくことも考えられる。

一連の活動毎に総括的な評価を記録しておき、年度末にそれらを総合して年間の総括的な評価を付けることも考えられる。年間の総括的な評価は、事前に定めておいた校内基準に則って行う。
また、一連の活動毎の総括的な評価の基準についても同様である。

【例2】 「一連の活動毎にルーブリック評価を用いる方法の工夫例」

ワークシート等を評価の参考材料として用い、そこから見取れる内容を下記のルーブリックの評価規準に照らし合わせて担任教師が個々に対する評価を行う例である。

ルーブリックの評価規準を事前に生徒に示し、共有することで目指すべき姿を理解しやすくなり、より客観的に評価することができる。また、一連の活動にルーブリック評価を用いる場合は、活動ごとにルーブリックを設定して目線合わせをする必要がある。

一連の活動① 「教科・科目の選択を通して主体的に進路決定をしよう」

	A	B	C
知・技	現在の学習と将来の社会的・職業的な自立とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を十分に身に付けている。 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。	現在の学習と将来の社会的・職業的な自立とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。 自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。	現在の学習と将来の社会的・職業的な自立とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。
思・判・表	自己の学習課題、及び自己の将来の生き方や進路についての課題を粘り強く見いだそうとしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会貢献について適切かつ必要な情報を収集・整理して考察し、意思決定して実践している。	自己の学習課題、及び自己の将来の生き方や進路についての課題を見いだそうとしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会貢献について適切かつ必要な情報を収集・整理して考察している。	自己の将来の生き方や進路についての課題を見いだそうとしている。 働くことや社会貢献について適切かつ必要な情報を収集・整理して考察している。
態	将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方について見通しをもって振り返ろうとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて主体的に自己実現を図ろうとしている。	現在の生活や学習の在り方について振り返ろうとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。	現在の生活や学習の在り方について振り返ろうとしている。 社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

上記のルーブリック評価に従って、観点別評価と一連の活動毎の総括的評価を行い、記入する。1年間の最後に一連の活動毎の総括的評価を総合して、校内基準に則って「年間の総括的評価」を行う。

ホーム ルーム 活動 1年1組	一連の活動①「教科・科目の選択を通して主体的に進路決定をしよう」				年間の 総括的 評価
	知・技	思・判・表	態	一連の活動毎の 総括的評価 (小括)	
1101	○	○	○	○	○
1102	○		○	○	○
1103			○		

特別活動 事例2
 キーワード 「生徒会活動の指導と評価の計画から評価の総括まで」

議題
 全学年
 「生徒会活動(各種委員会)に主体的に参加する」

内容のまとめり
 生徒会活動(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営
 生徒会活動(2) 学校行事への協力
 生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画

以下に、一般的な委員会名と各委員会活動での内容、評価場面、代表的な評価者を示した。

委員会名(例)	内容のまとめり	主な評価場面	主な評価者
代議員	生徒会活動(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営	ホームルーム活動	担任・副担任
文化祭実行委員	生徒会活動(2) 学校行事への協力	行事準備, 行事	行事担当
体育祭実行委員	生徒会活動(2) 学校行事への協力	行事準備, 行事	行事担当
図書委員	生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画	ホームルーム活動	担任・副担任
保健委員	生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画	ホームルーム活動	担任・副担任
LHR 運営委員	生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画	ホームルーム活動	担任・副担任
選挙管理委員	生徒会活動(2) 学校行事への協力	選挙準備, 選挙	選挙担当
交通安全委員	生徒会活動(3) ボランティア活動などの社会参画	交通マナー運動	マナー運動担当
放送委員	生徒会活動(2) 学校行事への協力	行事	行事担当
修学旅行委員	生徒会活動(2) 学校行事への協力	行事準備, 行事	主任・担任

委員会に所属していない生徒も含めて生徒会の一員である。

主な評価者を示しているが、委員会に所属している生徒だけでなく、活動に参加している全生徒が評価対象になる。

主な重点評価場面は各学校や各委員会で工夫して設定する。委員会の生徒を評価する場面、その委員会に所属していない生徒を評価する場面を設定する。

以下に、各委員会の活動例を示した。

各学校の実情に合わせて、単なる行事の手伝いではなく、主体的に生徒が活動に参加できる活動を設定する。

委員会名 (例)	活動例
代議員	生徒総会の議題の話し合いをする、生徒総会で提案する、など
文化祭実行委員	文化祭の企画・運営 など
体育祭実行委員	体育祭の企画・運営 など
図書委員	図書のPR活動、POPの作成、カウンター当番 など
保健委員	地域清掃活動や地域ボランティア活動の企画・運営 など
LHR運営委員	ホームルームの人間関係をよりよく形成する工夫 など
選挙管理委員	生徒会役員を決める選挙の運営、立候補の呼びかけ、開票作業や結果の掲示など
交通安全委員	地域での交通マナーの呼びかけや交通安全教室の企画・運営 など
放送委員	行事の際の放送準備と運営、校内放送 など
修学旅行委員	修学旅行の意義の理解・コースの検討・学校や旅行業者とのとの打合せ・運営、文集作成 など

各委員会の活動の取組の中で、委員会生徒を評価する場面、ホームルーム活動で委員会の提案事項を話し合いしている場面、全校生徒が活動に参加している場面など、評価する場面は多くなるので、多面的な視点で評価する。

1 生徒会活動で育成を目指す資質・能力

生徒会活動（1）生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営

生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。

- 学校生活の充実と向上のために、生徒の総意によって目標を設定し、役員選挙等を通じた組織づくりや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解し、そのために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付けている。
- 生徒総会や各種の委員会において、学校生活の充実と向上のための課題や生徒の提案を生かした活動の計画について考え、課題解決の方法や役割の決定、その実践に取り組むことができる。
- 集団の形成者として、多様な他者と、互いの個性を生かして協力し、積極的に学校生活の充実と向上に参画しようとしている。

生徒会活動（2）学校行事への協力

学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。

- 学校行事の意義、生徒会としての意見を生かすための組織づくりや全校生徒で協働を図る仕組みを理解し、方法を身に付けている。
- 学校行事の特質に応じて、生徒会としてどのような協力を行うことが学校行事の充実と向上につながるか考え、話し合い、決めたことに協力して実践したり、生徒会の組織を活用した学校行事の運営に取り組んだりできる。
- 多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。

生徒会活動（3）ボランティア活動などの社会参画

<p>地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。</p> <p>○よりよい地域・社会づくりのために自分たちの意見を生かし、主体的に社会参画するために必要なことを理解し、仕方を身に付けている。</p> <p>○地域・社会の課題を解決するために、生徒会の組織を生かして取り組むことができる具体的な対策を考え、主体的に実践することができる。</p> <p>○地域・社会の形成者として、よりよい地域や社会の生活づくりに参画しようとしている。</p>

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<p>異年齢によって構成される委員会活動における活動の意義について理解している。</p> <p>よりよい学校生活や地域の生活の向上のための行動の仕方を身に付けている。</p>	<p>各委員会活動において、学校や地域の生活をよりよくするための課題を見だしている。</p> <p>学校や地域における課題解決のために話し合い、合意形成をすることでよりより人間関係を形成している。</p>	<p>各委員会での活動を通して、身に付けたことを生かして、学校や地域の生活の改善を図ろうとしている。</p> <p>活動の振り返りの中で、次年度に向けた課題を出し、学校や地域の生活向上に主体的に関わろうとしている。</p>

3 指導と評価の計画

生徒会活動（各種委員会の活動を中心とした）での指導計画と評価の事例である。各ホームルーム活動でのクラスでの委員会決めから、各委員会の活動、また活動内容の生徒総会での報告など一連の活動計画例である。一年間の生徒会活動への参加、また委員会に所属していない生徒も含めてどのように評価をするかの工夫例を示した。

【一連の活動と評価】

時間	議題 ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(4月) ホームルーム活動	「今年度のホームルーム役員（委員会）を決めよう」	各委員会活動の内容を理解し、役割の分担することの意義を理解している。	所属している委員会で何をするかを考え、表現している。	自分自身やお互いの個性を活かして主体的な組織を作ろうとしている。
<p>委員会に所属しないクラス独自の係の生徒なども、生徒会の一員であり、生徒会活動に参加していいわけではない。ホームルームの中で学校行事など生徒会活動の一員としての活動を評価できる。</p> <p>※「クラスの号令係として・・・」は、生徒会活動の評価にはならない。</p>				

<p>(4月) 前期各種委員会</p>	<p>「委員会ごとに、 ①学校のため、又は②地域のため、 2つの視点で今年度の活動を考える」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所属している委員会の意義を理解している。 ・学校生活や地域の生活の充実と向上のために、課題を設定し、役割分担を行って協働して実行することの意義を理解している。 ・実行するために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付けている。 	<p>学校生活や地域の生活の充実と向上のために委員会として取り組むべき課題を考えている。</p>	<p>異年齢の集団の中での話し合い活動に主体的に参加しようとしている。</p>
<p>(1)委員会によって目的が変わるので、①又は②の視点で考える。 (2)委員会に所属していない生徒も含めて全員が参加できる活動になるように考える工夫をする。</p>		<p>それぞれの委員会から生徒総会で提案する議題を検討する。</p>		
<p>【問題の発見・確認、議題の設定】</p>				
<p>(5月) 前期生徒総会</p>	<p>「各委員会より、今年度の活動内容や議題について提案する」</p>	<p>活動内容を理解し、他の生徒にも伝わるような提案の仕方を身に付けている。</p>	<p>全校生徒が参加できる活動になるように考えている。</p>	<p>異年齢の集団の中で、お互いの個性を生かして協力し、積極的に自らの行動で学校生活や地域の生活の向上を図ろうとしている。</p>
<p>【解決に向けての話し合い】※議題の解決方法の提案の説明</p>				
<p>【解決方法の決定】※解決方法の賛否の表明</p>				
<p>(5月～) 各委員会活動 又は ホームルーム活動</p>	<p>各委員会の活動時期やホームルームでの実践時期は違うので、前期に活動した場合は後期の生徒総会で活動報告をする。</p>	<p>学校生活や地域の生活の充実と向上のために、設定した課題を協働する意義を理解しながら合意形成し、実行する仕方を身に付けている。</p>	<p>課題に対してどのように取り組めばよいかを考えながら、他の人とも意見を交換しながらより良い取組になるように考えている。</p>	<p>学校生活や地域の生活の充実と向上のためにクラスの一員、学校・地域の一員として、課題に取り組んでいる。</p>
<p>【決めたことの実践】※生徒総会で議決された事項について実践</p>				

<p>(10月) 後期各種委員会</p>	<p>「前期の活動内容について振り返る」</p>	<p>各委員会活動の内容を理解し、役割を分担することの意義を理解していたかを、振り返ることができている。</p>	<p>前期の行動を振り返り、前期に実践したことを表現し、後期に何をすべきかを表現している。</p>	<p>前期の行動を振り返り、新たな課題を見だし、後期又は次年度の活動に繋げようとしている。</p>
<p>【振り返り①】 ※実践したことの振り返り</p>				
<p>(10月) 後期生徒総会</p>	<p>「各委員会より、活動内容について報告する」</p>		<p>前期の活動内容について、合意形成した内容について表現できている。</p>	
<p>(10月～) 各委員会活動 又は ホームルーム活動</p>	<p>後期生徒総会以降に活動がある場合は、実践した内容について、各委員会で振り返り、次年度の前期生徒総会で活動報告をする場合もある。</p>	<p>※前期活動と同じ 学校生活や地域の生活の充実と向上のために、設定した課題を協働する意義を理解しながら合意形成し、実行する仕方を身に付けている。</p>	<p>※前期活動と同じ 課題に対してどのように取り組めばよいかを考えながら、他の人とも意見を交換しながらより良い取組になるように考えている。</p>	<p>※前期活動と同じ 学校生活や地域の生活の充実と向上のためにクラスの一員、学校・地域の一員としてとして、課題に取り組んでいる。</p>
<p>(2月) 各種委員会</p>	<p>「後期、一年間の活動内容について振り返る」</p>	<p>各委員会活動の内容を理解し、役割を分担することの意義を理解していたかを、振り返ることができている。</p>	<p>一年間の行動を振り返り、実践したことを表現している。</p>	<p>一年間の行動を振り返り、新たな課題を見だし、次年度以降の活動に繋げようとしている。</p>
<p>【振り返り②】 ※振り返りから次年度の課題解決へ</p>				

4 各委員会の活動例

例として体育祭委員会の活動例，生徒総会に向けての取組の活動例を示した。活動の中での評価場面や評価者，評価対象者を示した。

(例①) 体育祭実行委員会

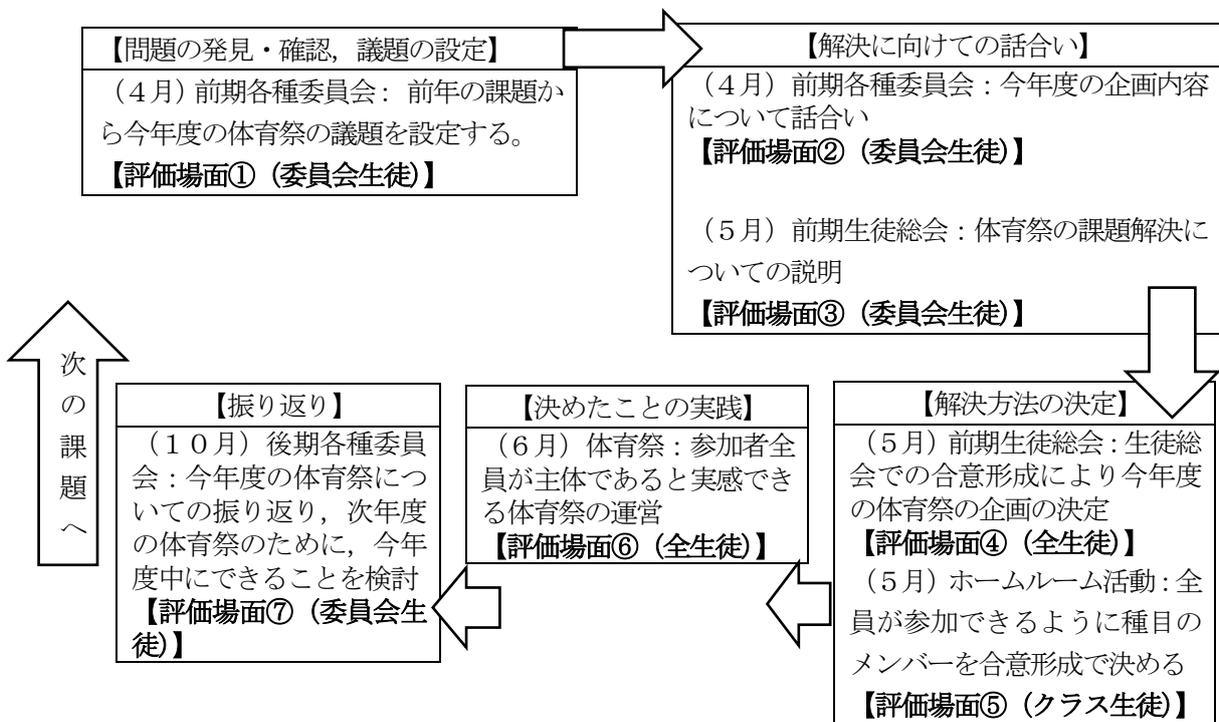
(1) 議題 「全員が参加できる体育祭を企画しよう！」

毎年の体育祭の中で，多くの生徒が楽しんでいる様子があるが，運動が苦手な生徒が楽しめていない様子も見られることから，全員が参加できる体育祭を企画したい。

(2) 目指す生徒の姿

- ・運動が好きな生徒も苦手な生徒も，全校生徒で楽しめる体育祭になるために必要なことを見いだそうとしている。
- ・生徒総会で今年度の体育祭について提案すべきことを考えている。
- ・体育祭に参加している生徒全員が，主体者だと実感している。

(3) 展開



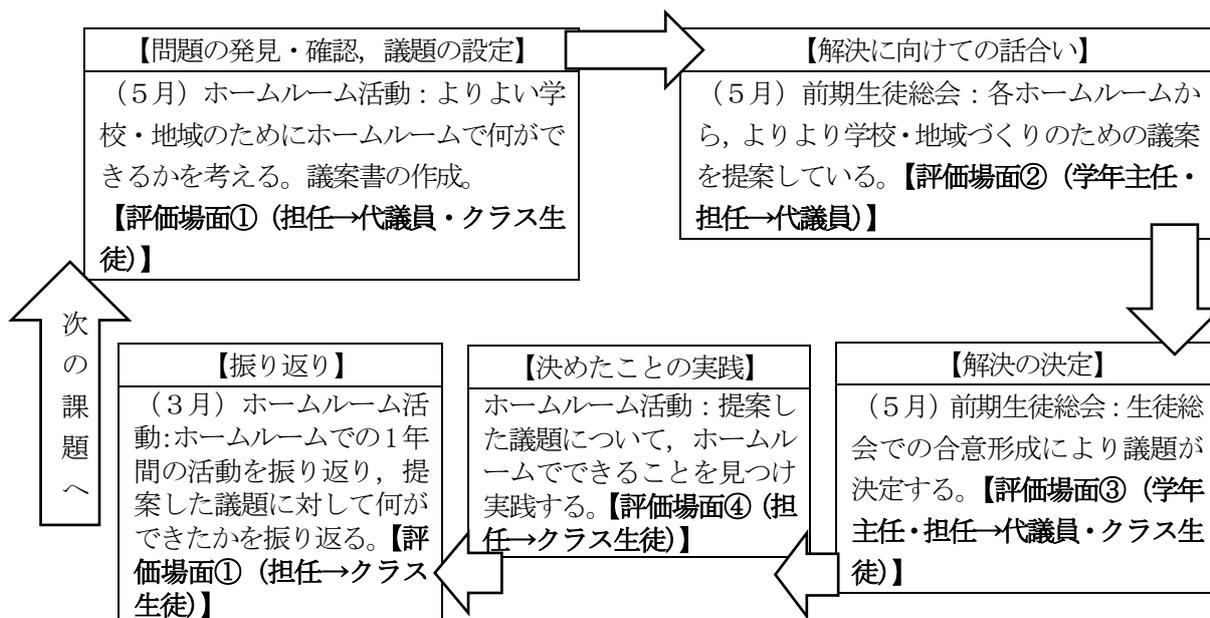
(例②) 生徒総会

(1) 議題 「各クラスから議題を提案しよう」

(2) 目指す生徒の姿

- ・学校生活の充実のために何が必要かを考えている。
- ・生徒総会での提案すべきことを考えている。
- ・全員がこの学校を構成する生徒会の一員であると自覚している。

(3) 展開



5 議題 (ねらい・学習活動) ごとの評価の進め方

委員会の決定, 委員会活動, 生徒総会, そしてクラスでの活動を通して, 生徒会活動への関わりを考えることができているかを, 振り返りから自己評価する。評価補助として汎用性のあるルーブリック評価を用いて自己評価をしたり, 自己評価を参考にしたりして教師が評価できるようにする。

以下に生徒会活動のルーブリック評価の例, 振り返りで各生徒が記載する自己評価表の例, 補助簿の例を示した。

(1) 生徒会活動のルーブリック評価 (例)

ルーブリックの評価基準は事前に生徒と共有することで, 生徒が目指す姿を理解しやすくなる。また, フィードバックする際に, 何が足りないのかを示すことも出来るので, 行動目標になる。

	A	B	C
知識・技能	異年齢の集団やクラスの中で, 自分の役割を理解し, 他者と合意形成をする仕方について理解している。	生徒会に所属する一員としての自分の役割について理解している。	生徒会の一員であると理解している。

思考・判断・表現	話し合い活動の中で、互いに良い部分を引き出しながら、win-winの関係を築くことができる。	話し合い活動の中で、自分の意見を表現することができる。	話し合い活動に参加し、他者の意見に賛成・反対の立場を取ることができる。
主体的に学習に取り組む態度	考えの違う他者の意見や存在を認めながら、学校や地域を良くしていくために主体的に行動できている。	自分の役割を見つけ、個性を生かしながら行動でき、他者の支援もできる。	決められたことや指示されたことに取り組むことができる。

(2) 自己評価表の例

評価の参考材料として、生徒自身が書く振り返りシートを活用することもできる。

前期・所属する委員会名又はクラス役員 【 委員会・係】	
観点	ABCとした理由（活動内容）
知識・技能	(記載例) 文化祭で面白い企画を考えることは出来たが、よりよい学校生活に繋がったのかは分からない。【文化祭実行委員】
思考・判断・表現	(記載例) 通学路のゴミが多いことに注目し、「全校生徒がホームルーム単位で地域の清掃活動に取り組もう！」という議題を提出した。【保健委員】
主体的に学習に取り組む態度	(記載例) 駐輪場のマナー向上のためのポスターを作成し掲示した。【交通安全委員】
前期を振り返って：(記載例) 委員会には入っていないけど、図書委員が提案した「図書館利用向上のため」という議題について、自分も本が好きなので、前向きな提案が出来ていたと思う。【委員会所属なし】	

上記は「自己評価シート」の例を示しているが、生徒同士で相互評価することで、本人や教員が見えていなかった点に気付くなどのメリットもある。

(3) 補助簿の例

各場面での評価についての材料をまとめた補助簿の例を示した。担任だけではなく、生徒自身の自己評価、生徒同士の相互評価、委員会担当教諭や学年主任などから評価の参考材料を提出してもらうことで、多面的な評価をすることができる。

学籍番号	知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	所属委員会	メモ（Aとした活動内容の根拠）	総括
3101	C	A	B	文化祭	<p>本人の自己評価や担任コメントだけでなく、行事担当者や学年主任などから活動内容を見てのコメントなどをメモ書きでも提出してもらえると良い。複数の視点で生徒を見取る工夫をする。</p>	
3102	B	A	A	図書	<p>(本人) 本が好きなので、ポスターづくりは気合いを入れた。 (担任) クラスで図書返却の声がけをしていた。 (司書) 図書館に普段は足を運ばない生徒の目に留まるようなポスターを作成してくれた。</p>	○
3103	B	B	A	なし	<p>(本人) クラスみんなの意見が集約できるようなアイデアを出したと思う。 (担任) クラスでの話し合いの中で、より行事が盛り上がるようなアイデアを出してくれていた。</p>	

特別活動（生徒会活動）の観点別評価は、最終的には1年間の生徒会活動を通して、「○」がつくかどうかである。例示ではルーブリック評価を参考にし、生徒一人一人を補助簿で総括評価する例を示しているが、「○」をつける根拠として、例えば、3観点に「A」が2つ以上あれば「○」、や3観点の主体性を高く評価する、などの指針を各学校で定める必要がある。上記の例では「A」が2つあれば「○」とした例である。また、「○」がつく理由を備考などに説明できていると良い。

特別活動 事例3
 キーワード 「学校行事の指導と評価の計画から評価の総括まで」

議題
 全学年
 「体育祭」

内容のまとめり
 学校行事（3）健康安全・体育的行事
 関連：ホームルーム活動（3）ウ 学校における多様な集団の生活の向上
 生徒会活動

1 学校行事（3）で育成を目指す資質・能力

- 心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付ける。また，体育的な集団活動の意義を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。
- 自己の生活を振り返り，健康，安全，防災，運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え，他者と協力して，適切に判断し行動することができるようにする。また，運動することのよさについて考え，集団で協力して取り組むことができるようにする。
- 生涯にわたって，心身ともに健康で安全な生活を実践したりしようとする態度を養う。また，運動に親しみ，体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養う。

2 評価規準（内容のまとめりごとの評価規準）

○ 学校行事（3）「健康安全・体育的行事」の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から安全に身を守ることの意義を理解し，必要な行動の仕方などを身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。	自他の健康や安全について他者と協力して，適切に判断し行動している。 運動することのよさについて考え，集団で思考し，協力して取り組んでいる。	見通しをもったり振り返ったりしながら，運動に親しみ，体力の向上に積極的に取り組むとともに，心身ともに健康で安全な生活を実践しようとしている。

○ ホームルーム活動（1）「ホームルームや学校における生活づくりへの参画」の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し，協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見いだしている。 課題を解決するために話し合い，多様な意見を生かして合意形成を図り，協働して実践している。	ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し，多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。

○ 生徒会活動の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
生徒会やその中に置かれる委員会など、異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解している。 よりよい学校・地域・社会づくりに向けて、主体的に参画するための行動の仕方を身に付けている。	生徒会において、学校や地域全体の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 学校や地域における課題解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成している。	自治的な集団や地域における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会での生活の改善を図ろうとしている。 入学から卒業までという視野、全校や地域という視野で見通しをもったり振り返ったりしながら、よりよい生活を築こうとしている。

3 指導と評価の計画

学校行事「健康安全・体育的行事」の指導計画と評価の事例である。特別活動の全体計画と体育祭の指導と評価の計画、ホームルーム活動や、生徒会活動の関連を示したうえで、体育祭を中心とした一連の活動計画例、1単位時間の指導計画例、ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また、教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例について取り上げた。

【一連の活動と評価】

時間	学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒会活動 体育委員会	本年度の体育祭テーマを決める。 体育祭のねらいや予定を確認する。	体育祭の意義を理解している。	コロナウイルス感染症拡大防止という観点を踏まるとともに、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するテーマを合意形成することができる。	
ホームルーム活動	体育祭のテーマに沿った種目を考える。	体育祭の意義と、感染症拡大防止の趣旨を理解している。	コロナウイルス感染症拡大防止という観点を踏まるとともに、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資する種目について合意形成することができる。	

生徒会活動 体育委員会	実施種目を決めるとともに、種目ごとに係分担を決める。 当日の運営について確認する。	体育祭の目標を仲間と共有し、集団で活動することの有益性について理解している。	コロナウイルス感染症拡大防止という観点を踏まるとともに、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資する種目について合意形成することができる。 仲間のよさを理解し、誰がどの種目を担当するのがいいかについて合意形成することができる。	当日の運営が円滑になるよう、自分がすべきことに取り組もうとしている。 種目担当者が円滑に運営できるよう、互いのよさを見付けようとしている。
ホームルーム活動	クラス対抗種目における役割や出場種目を決め、どのように体育祭と関わるか考える。	自分の役割を理解している。 自分の力を発揮することで、自己有用感が高まることを理解している。	クラスの仲間の考えを尊重しながら、合意形成することができる。	自分の役割を考え、果たすべき役割を考えようとしている。
学校行事 体育祭	体育祭と関わる。		自分がクラスのためにできることに取り組んでいる。	
ホームルーム活動	体育祭を振り返り、日常生活になぐ。	自分や仲間、ホームルーム全体の成長を理解している。 体育祭の意義について理解している。		体育祭の取組を振り返り、自己の一層の伸長を目指して、今後の学校生活での行動を改善しようとしている。

4 体育祭に関わる一連の活動例

例として体育祭当日の活動、事後のホームルーム活動での取組を示した。

(例①) 体育祭

(1) 議題 体育祭に主体的に関わる

(2) 目指す生徒の姿

- ・自他の健康や安全について理解し、適切に取り組んでいる。
- ・自分がクラスのためにできることに真剣に取り組んでいる。

(3) 展開

	学習内容及び学習活動	○目指す生徒の姿
導入	1 開会式 集団活動の意義，規律ある集団行動の仕方などについて，再確認する。 2 準備運動 体をほぐし，けがの防止につながるよう，ラジオ体操と補強運動を行う。	・生徒が体育祭の意義について理解できるよう，事前に担任や担当が指導する。 ○自他の健康や安全について理解し，適切に取り組んでいる。【思考・判断・表現】（観察）
展開	3 競技 (1)「支える」 出場選手を集めたり，ルールの確認をしたり，審判をする。 (2)「する」 事前に決めた目標が達成できるよう，集団で協力して取り組む。 (3)「見る」 クラスの仲間の頑張りに対して，応援する。自分以外の体育祭に真剣に取り組んでいる友だちを見つける。	・体育委員が体育祭を円滑に運営できるよう，事前に担当が指導する。 ○自分がクラスのためにできることに真剣に取り組んでいる。【思考・判断・表現】（観察） ・複数の教師により，生徒の活動状況について評価する。 ・後日，相互評価を実施することを，事前に周知しておく。
終末	4 整理運動 疲労軽減，けがの防止につながるよう，整理運動を行う。 5 閉会式	○自他の健康や安全について理解し，適切に取り組んでいる。【思考・判断・表現】（観察）

(例②) ホームルーム活動

(1) 議題 体育祭を振り返り，日常生活にどう生かすかを考えよう

(2) 目指す生徒の姿

- ・自分や仲間，ホームルーム全体の成長を理解している。
- ・体育祭の意義について理解している。
- ・体育祭の取組を振り返り，自己の一層の伸長を目指して，今後の学校生活での行動を改善しようとしている。

(3) 展開

	学習内容及び学習活動	○目指す生徒の姿
導入	1 本日の活動を確認する。 ・アンケートを記入し，グループで共有するという活動を確認する。	・行事を振り返ることの重要性を伝える。
展開	2 ワークシートに記入する。 ・ワークシートにより，行事と自身の関わりについてとともに，行事当日に真剣に取り組んだり，応援していたりできていたかについて振り返る。	○自分や仲間，ホームルーム全体の成長を理解している。体育祭の意義について理解している。【知識・技能】（ワークシート） ○体育祭の取組を振り返り，自己の一層の

	<p>3 3人程度のグループでワークシートに書いたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトの発表を聞いて、気付いたことがあれば伝える。 <p>4 グループで共有したことを参考にして、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の関わりを、どのように日常生活につなげるかについて記入する。 <p>5 話し合い活動によりグループで共有する。</p>	<p>伸長を目指して、今後の学校生活での行動を改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート・観察)</p>
終末	<p>6 ワークシートに記入したことを確認し、キャリア・パスポートに綴る。</p>	

5 議題(ねらい・学習活動)ごとの評価の進め方

学校行事についての評価であっても生徒個人を評価することになることから、評価材料として活動の観察やワークシートを活用することが考えられる。

体育祭を通して目指す生徒の姿を具体的にし、その実現に向けて取り組む中で、生徒がどのように変容しているか見取ったり、ワークシートの記述を読み取ったりして評価する。生徒の活動の様子を見取るにあたり、補助簿を活用することで、複数の教師が記録できるようになり、生徒の活動をより多くの教師で見取ることができる。

以下に各活動における教師の役割を示し、体育祭当日の見取りの評価の例、振り返りで各生徒が記載するワークシートの例、補助簿の例を挙げた。

○ 教師の役割

	評価材料	主な評価場面	主な評価者
学校行事 体育祭	生徒の活動	行事当日の活動	担任・副担任・学年所属の教師
ホールムール活動	生徒の活動 ワークシートの記述内容	ホールムール活動	担任・副担任
生徒会活動 体育委員会	生徒の活動 ワークシートの記述内容	行事準備, 行事当日	担当・副担当

(1) 行事当日の見取りの評価について(例)

行事当日、生徒がどのように体育祭に取り組もうとしていたのか、見取りから評価する。あらかじめ、十分満足できる生徒の姿を設定しておくことが重要である。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
支える	自分の役割をやり遂げるとともに、他の役割にも協力している。	自分の役割を理解し、やり遂げている。	他から指示されて自分の役割を果たしている。
する	リーダーシップを発揮して、仲間と協力しながら、競技に取り組んでいる。	仲間と協力して競技に取り組んでいる。	他から声を掛けられて、競技に取り組んでいる。

見る	クラスに関係なく頑張っている生徒に対し、場面に 応じた声かけや応援をして いる。	クラスの仲間を応援して いる。	他から誘われて、クラスの 仲間を応援している。
----	--	--------------------	----------------------------

(2) ワークシートを活用した評価について (例)

後日の振り返りのホールルーム活動において、ワークシートに記入させる。そのワークシートの記述の内容を参考にして評価する。

1 体育祭で自分が頑張ったことについて、以下の項目に当てはまるものを答えてください。(複数回答可)

- ア) 体育祭の意義と、感染症拡大防止の趣旨を理解できた。
- イ) コロナウイルス感染症拡大防止という観点を踏まえた種目について話し合えた。
- ウ) 運動に親しみやすい種目、自分や仲間、ホールルーム全体の連帯感が生まれる種目、体力向上につながる種目など体育祭の種目について話し合えた。
- エ) クラスでの自分の役割を理解できた。
- ② 自分の役割を果たすことで、自己有効感が高まった。
- カ) クラスの仲間の考えを尊重しながら、話し合いができた。
- キ) 自分の役割を考え、クラスで果たすべき役割を考えた。

理由 スポーツに全力で頑張れながらでき、コロナとコロナ対策もやった。
意外とあつまらにやっていた予感がなんかも、友だちにほめられてうれしかった。
あたりまえ、て大事だと思った。

「スポーツに全力で協力しながらできた」「友だちからほめられてうれしかった」「あたりまえが大事」という記述は、【知識・技能】の観点から、評価できる。

理由
林くん：フットサル競技で誰よりもボールを運んでいた。
可織さん：応援しながら、体調が悪い人の看病も積極的に行っていた。

生徒による相互評価を評価の参考にすることができる。

行事当日は担任・副担任も行事運営の担当となり、クラスの全ての生徒の活動を見取ることが難しいことが予想される。生徒の相互評価と複数の教師による見取りから、行事当日の生徒の活動について評価することが考えられる。

3 体育祭を終えて、これからに活かせることは何ですか。

一つの目標に向かって協力することの素晴らしさや学びのため、
受験や今後の人生でも多くの人と助け合うことの協調性に活か
したいです。また、今回の体育祭を通して、自分のできること、他人の
の強さやこと、それぞれの役割など「何かと補う」ということを学び
たため、今後も活かしたいです。

「受験や今後も工夫して多くの人と助け合うなどの協調性に活かしたい」という記述は、【主体的に学習に取り組む態度】の観点から、評価できる。

*ワークシートの例

体育祭を振り返って

年 組 番 氏名

今回の体育祭を終えて、体育祭が始まる前・体育祭期間中のクラスへの貢献度、そして、体育祭を踏まえて、これからは活かせることを書いてみよう！

- 1 体育祭で自分が頑張ったことについて、以下の項目に当てはまるものを答えてください。(複数回答可)
- ア 体育祭の意義と、感染症拡大防止の趣旨を理解できた。
 - イ コロナウイルス感染症拡大防止という観点を踏まえた種目について話し合えた。
 - ウ 運動に親しみやすい種目、自分や仲間、ホームルーム全体の連帯感が生まれる種目、体力向上につながる種目など体育祭の種目について話し合えた。
 - エ クラスで自分の役割を理解できた。
 - オ 自分の役割を果たすことで、自己有用感が高まった。
 - カ クラスの仲間の考えを尊重しながら、話し合いができた。
 - キ 自分の役割を考え、クラスで果たすべき役割を考えた。

理由

- 2 自分以外の体育祭に真剣に取り組んでいる友だちは誰ですか。その理由とともに答えてください。(複数回答可)

理由

- 3 体育祭を終えて、これからは活かせることは何ですか。

理由

(3) 補助簿を用いて評価する例

体育祭、文化祭など特定の行事に重点を置いて評価することも考えられる。また、各行事で目指す生徒の姿を明確にし、校内で共通理解を図っておくことで、複数の教師による見取りができ、メモに記録を残すことで、評価に活用することができる。

学籍番号	体育祭			文化祭			メモ	総括
	体育祭の意義を理解している。	体育祭に向け、他者と協力して、適切に判断し行動している。集団で協力している。	運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。	文化祭の意義を理解している。	仲間と協力して発表したり、自他の個性を認め、高め合ったりしている。	文化祭活動に見通しをもって取り組んだり、自己の成長を振り返ったりして、自身を高めようとしている。		
1101	○	○	○	○	○	○	○文化祭 A先生 クラス展示の責任者を務め、クラスの団結力を高めた。 ○体育祭 体育祭では実行委員長を務め、集団活動の意義について考えを深めた。	○
	ワークシートの記述	見取り	ワークシートの記述	ワークシートの記述	A先生による見取り	ワークシートの記述		
1102	○	○		○			○文化祭 特記事項なし ○体育祭 B先生 クラス対抗種目の練習を企画し、クラスメイトに声を掛けた。(相互評価)	○
	ワークシートの記述	B先生による見取り		ワークシートの記述				
1103	○			○			○文化祭 特記事項なし ○体育祭 特記事項なし	
	ワークシートの記述			ワークシートの記述				

○の数が3つ以上ならば「十分満足できる活動の状況」とするなど、あらかじめ校内で共通理解を図り、方針を明確にしておき、年間の総括的評価をする。また、担任、担当者、学年所属の教師がメモを残し、そのコメントを総括的評価に生かすことも考えられる。

資料 1

●補助簿の活用例

一年 ○ 組	ホームルーム活動				～	一連の活動④				～
	一連の活動①					一連の活動②				
	教科・科目選択					〇〇についての討論会				
	知・技	思・判・表	主体的態度	小括		知・技	思・判・表	主体的態度	小括	
A			○					○		
B	○			○				○		○
C	○	○	○	○		○	○	○	○	○

一連の活動毎に小括する例。
ホームルーム活動の内容のまとめ(1), (2), (3)の区分毎に小括することも考えられる。

一年 ○ 組	その他の諸活動					
	地域美化活動		役員選挙			
	知・技	思・判・表	主体的態度	知・技	思・判・表	主体的態度
A						
一年 ○ 組	生徒会集会活動					
	対面式		生徒総会			
	知・技	思・判・表	主体的態度	知・技	思・判・表	主体的態度
A						

一連の活動毎の補助簿の小括をもとに、ホームルーム活動全体を総括して評価する例。

一年 ○ 組	委員会活動				総括	所属委員会	メモ
	知・技	思・判・表	主体的態度				
A		○	○	○	保健	感染症対策の呼びかけを積極的に行った。	
B		○			進路	進路資料の整理を心がけた。	
C	○	○	○	○	図書	建設的な意見を出し、図書館利用向上に繋がった。	

一年 ○ 組	ホームルーム活動(一連の活動毎の小括まとめ)					メモ
	①	②	③	④	総括	
A				○		積極的に発言し、活発な議論の雰囲気を作った。
B	○	○	○	○	○	周囲への働きかけを積極的に行った。
C	○	○	○	○	○	各活動を生かし、学習や生活に取り入れようとしている。

一年 ○ 組	生徒会活動				総括	メモ
	委員会	集会	諸活動			
A	○		○	○	○	保健委員として、感染症予防の呼びかけを行った。
B			○		○	美化活動を積極的に行った。
C	○	○	○	○	○	建設的な意見を出し、図書館利用向上に繋がった。

体育祭、校外学習、文化祭の3つの行事に重点を置いた場合の補助簿の例である。
各行事で目指す生徒の姿を明確にし、校内で共通理解を図っておく必要がある。

一年 ○ 組	学校行事												総括	メモ
	体育祭				校外活動				文化祭					
	知・技	思・判・表	主体的態度	知・技	思・判・表	主体的態度	知・技	思・判・表	主体的態度	知・技	思・判・表	主体的態度		
A			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	リーダーとして、意見をまとめ成功に導いた。
B	○			○			○			○			○	運動能力が高く、各種目の作戦を考えた。
C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	校外活動では進んで外部機関と連絡を取り合い、綿密な計画を立てた。

●補助簿の活用と総括

特別活動の記録					
内容	観点	学年			
		1	2	3	4
ホームルーム活動	・よりよい生活を築くための知識・技能 ・集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○			
生徒会活動	・主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○			
学校行事	余白	○			

各活動・学校行事で作成した補助簿を活用し、総括評価を行なう例。
一連の活動や、内容のまとめ、各活動・学校行事の小括・総括それぞれについて、「○」の数がいくつで「十分満足できる活動の状況」とするなど、校内で共通理解を図り方針を明確にして、年間の評価の欄に「○」をつける。

全学年で共通した、各学年で定めた評価の観点を記入する

評価の観点の変更がある場合を想定して、余白をとっておく。

●指導要録「総合所見及び指導上参考となる諸事項」への記入例

総合所見及び指導上参考となる諸事項	
第1学年	<p>ホームルーム活動における話し合いでは、積極的に自身の考えを述べるとともに、集団生活改善に向けた声かけをした。</p>

事実とともに、活動状況などについて要点を簡条書きにするなど、記載事項を必要最低限にする。
○印が付かない場合であっても、生徒のよい点や進歩の状況などについて積極的に取り上げ、その具体的な事項について記入する。

学習評価（特別活動）に係るQ&A

Q1 特別活動全体に係る評価の観点については、なぜ設置者ではなく、学校が定めることとなったのか。

(A)

特別活動については、今回の学習指導要領の改訂で、各活動・学校行事の目標を新たに規定し、育てたい資質や能力をより明確にして指導に当たることが示されました。

また、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（平成31年3月29日30文科初第1845号初等中等教育局長通知）」（以下、改善等通知）では、特別活動の目標に照らして育成しようとする資質や能力について観点を明確にした上で評価することが示されています。

特別活動については、目標や内容は示されていますが、他の教科等に比べて、各学校において多岐にわたる活動に取り組んでいるという実態があることや、ホームルーム活動以外は、標準時数の定めがなく各学校が適切な授業時数を充てていることなど「特別活動の特質」と、学校等の創意工夫を生かすという「今回の評価の改善の基本的方向性」の両者を踏まえて、設置者ではなく、学校が観点を定めることとしています。

Q2 各校で定めることとなる特別活動全体に係る評価の観点は、どのように定めたら良いか。

(A)

各校の特別活動において育成を目指す資質・能力のどこに重きを置くかが重要です。学習指導要領等に示す特別活動の目標や各校の教育目標等に照らして重点化した内容を踏まえ、3つの観点について具体的に示すことが考えられます。

その際に、「改善等通知」別紙の例示を参考にすることが考えられます。

Q3 観点別学習状況の評価は毎時間行なわなければならないか。

(A)

観点別学習状況の評価に係る記録は、毎回の授業ではなく、単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに行うなど、評価場面を精選する必要があります。なぜなら日々の授業における生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要だからです。

また、生徒自身がどのように評価されるのかを理解することも重要で、年間計画やシラバス等を通じて、どの場面でどのように評価するのかを事前に生徒に伝えることが理想です。

学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに、生徒自身に学習の見通しをもたせるため、学習評価の方針を事前に生徒と共有する場面を必要に応じて設けます。

【特別活動部会作成委員】

建部 淳	宮城県教育庁高校教育課指導主事
佐藤 秀之	宮城県石巻好文館高等学校主幹教諭
村上 智彦	宮城県仙台第一高等学校教諭
長谷川弘和	宮城県仙台向山高等学校教諭